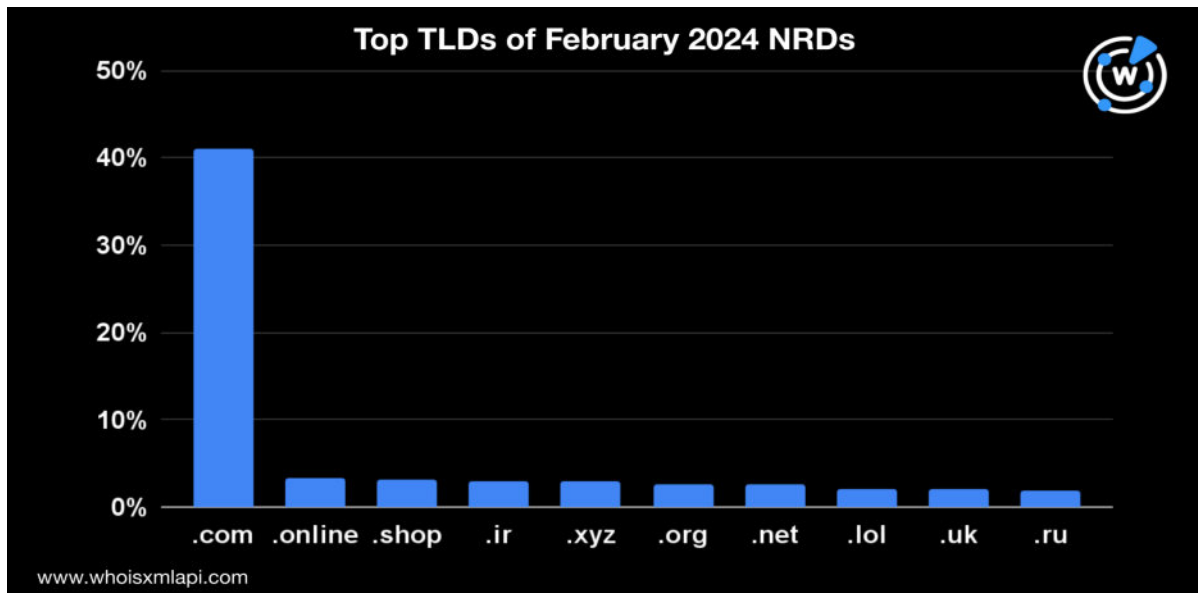


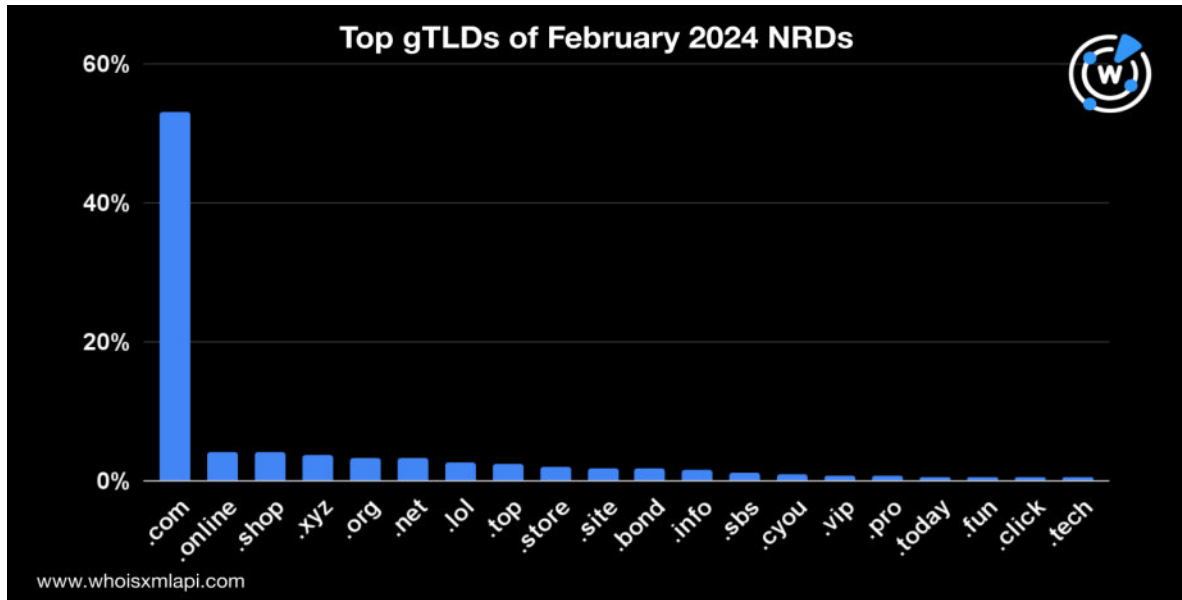
[1月の傾向](#)と変わらず、2月の新規登録ドメイン名（NRD）に最も多く使われていた TLD は、全体の約 41.1%を占めた.comでした。次いで多かったのは、.online（3.3%）、.shop（3.2%）、.ir（3%）、.xyz（2.9%）、.org（2.6%）、.net（2.5%）、.lol、.uk、および.ru（各2%）です。



次に、NRDをgTLDとccTLDに分け、それぞれのグループで最も人気のあったTLDを特定しました。

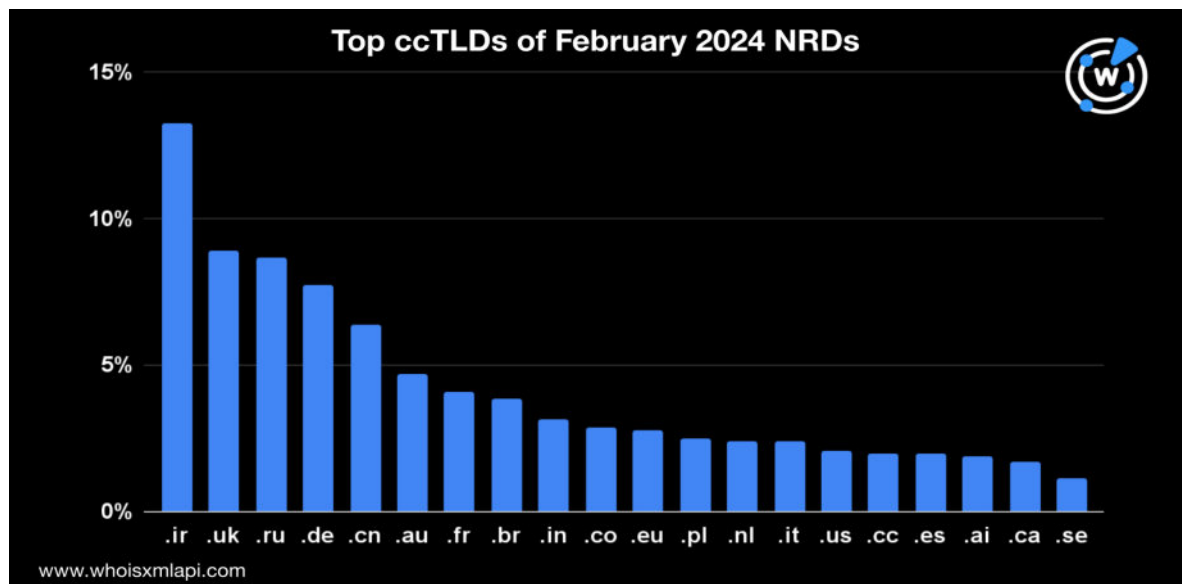
640あまりのgTLDの中で最も使われていたのは.comで、gTLD下に登録されたNRD総数の53.1%を占めました。

2位以下は.comに大差をつけられました。2位はeコマース関連の.onlineと.shop（各4.2%）でした。そして、これに.xyz（3.7%）、.org（3.4%）、.net（3.3%）、.lol（2.6%）、.top（2.5%）、.store（2.1%）、.site（1.9%）、.bond（1.8%）、.info（1.5%）、.sbs（1.1%）、.cyou（1%）、.vip（0.8%）、.pro（0.7%）、.today、.funおよび.click（各0.5%）、.tech（0.4%）が続きました。



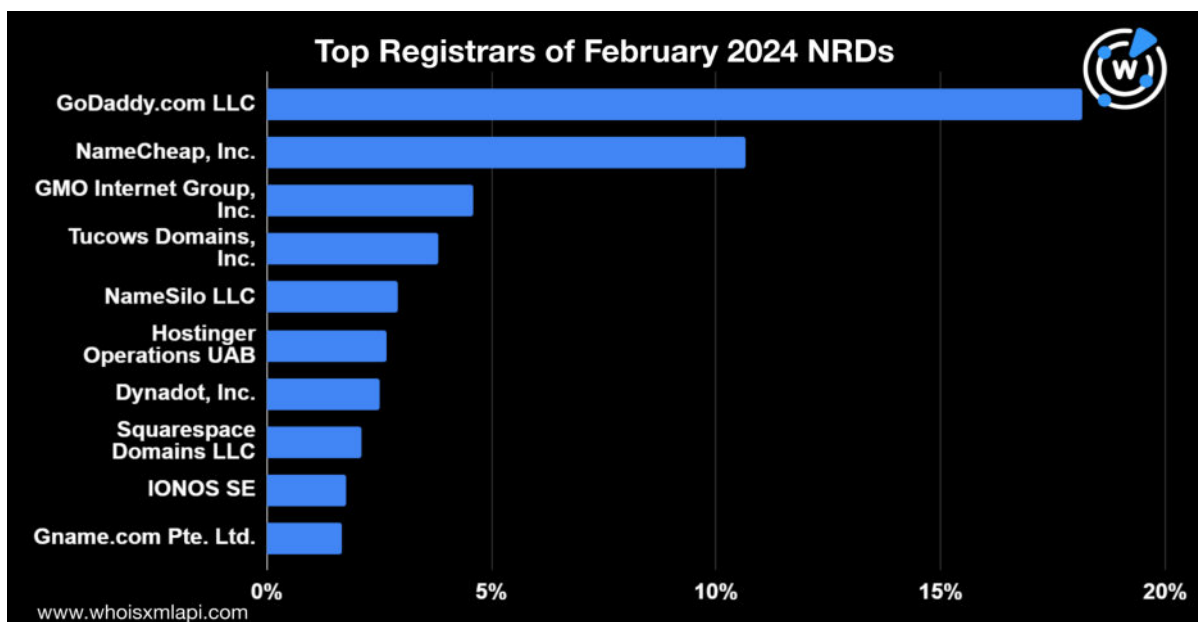
他方、230超存在するccTLDの中で最も人気が高かったのは.irで、ccTLD下で登録されたNRDの13.2%でした。

次いで多かったのは、.uk (8.9%)、.ru (8.7%)、.de (7.7%)、.cn (6.4%)、.au (4.7%)、.fr (4.1%)、.br (3.8%)、.in (3.2%)、.co (2.9%)、.eu (2.8%)、.pl (2.5%)、.nlと.it (各2.4%) でした。トップ20の残りは、.us (2.1%)、.cc (2%)、.es (2%)、.ai (1.9%)、.ca (1.7%)、そして.se (1.1%) となりました。以上を合計すると、2月のccTLDによるNRDの84.8%になります。



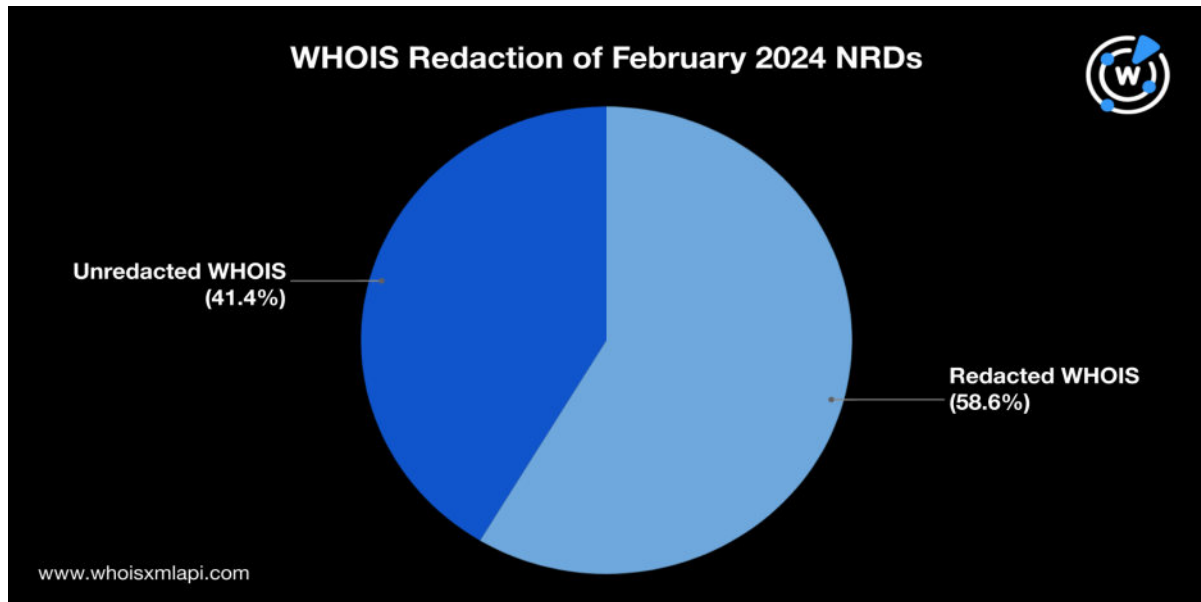
レジストラの分布

2024年2月のNRDで最も多く利用されたレジストラはGoDaddy.com LLC（全NRD登録数の18.1%）で、2位はNamecheap, Inc.（10.7%）でした。トップ10の残りは、GMOインターネットグループ（4.6%）、Tucows Domains, Inc.（3.8%）、NameSilo LLC（2.9%）、Hostinger Operations UAB（2.7%）、Dynadot, Inc.（2.5%）、Squarespace Domains LLC（2.1%）、IONOS SE（1.8%）、Gname.com Pte. Ltd.（1.7%）となりました。



WHOIS データの非公開化

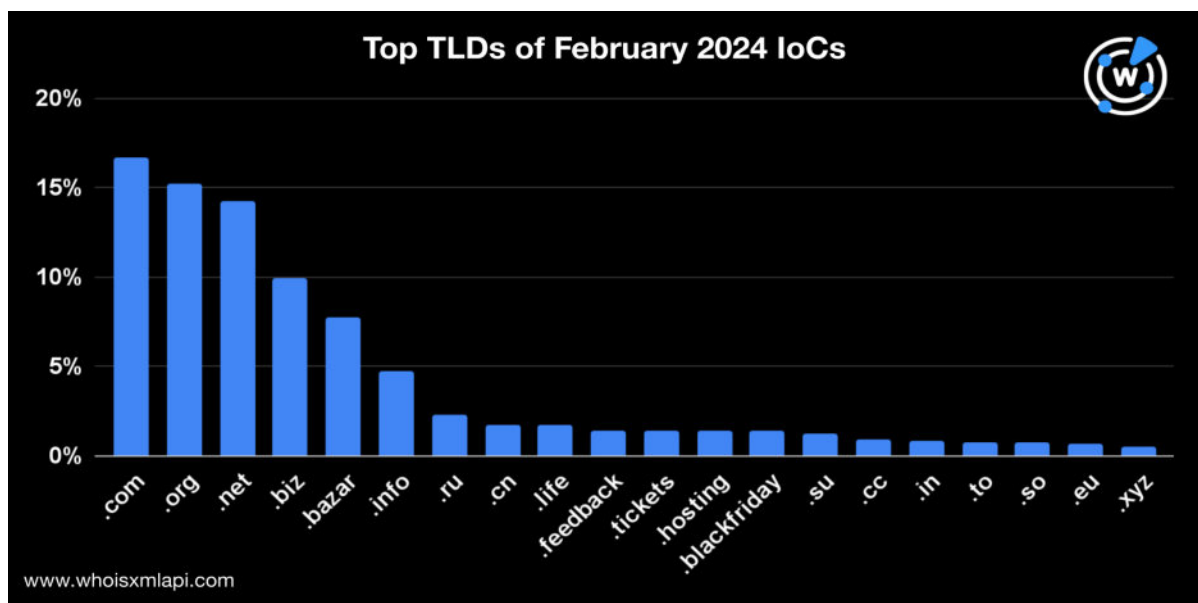
2月のNRDの58.6%は、プライバシー保護のためWHOISレコードを編集・非公開化して
いました。他方、41.4%はWHOISレコードを未編集の状態で公開していました。



DNS のレンズで見るサイバーセキュリティ

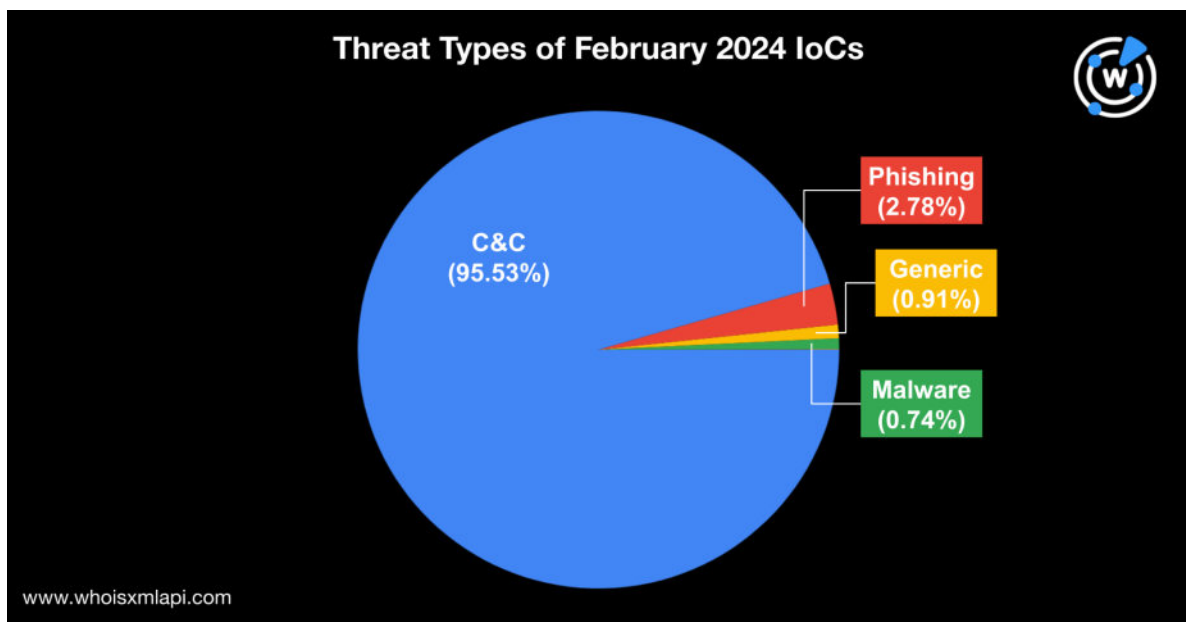
2月のIoCのトップTLD

次に、脅威との関連で2月にIoCとしてタグ付けされた100万超のドメイン名を分析しました。IoCに最も多く見られたTLDは.comで、全体の16.6%を占めました。次いで多かったのは、.org (15.2%)、.net (14.3%)、.biz (10%) でした。また、.ru (2.3%)、.cn (1.7%)、.su (1.2%) など、ccTLDを使ったIoCもありました。



2月のIoCの脅威タイプ別内訳

2月に検出されたIoCに関連している脅威のタイプ別に分類したところ、そのほとんど（95.53%）がコマンド&コントロール（C&C）サーバーでした。残りは、フィッシングキャンペーン（2.78%）、マルウェア配布（0.74%）およびその他のサイバー攻撃（0.91%）に分類されました。



脅威レポート

当社が2月に公開した脅威リサーチ報告の一部を以下にご紹介します。

- [Ivanti ゼロデイ攻撃のIoCをDNSで追跡](#)：Ivanti製品の脆弱性を悪用した攻撃のIoCとして公表された20個のプロパティをもとに、WhoisXML APIの研究チームが397個の関連アーティファクトを検出しました。
- [DNS調査：閉鎖されたxDedicは本当に終息したのか？](#)：xDedicに関与した19個のIoCを出発点としてDNSを徹底調査した結果、xDedic自体は法執行機関によって閉鎖されていたにもかかわらず、150個の関連アーティファクトが存在していることを確認しました。
- [豚の屠殺詐欺をDNSで調査](#)：「豚の屠殺詐欺」と呼ばれる新種の詐欺に関わった8個のIoCを分析し、141個の関連アーティファクトを特定しました。



- [RisePro の新バージョンを DNS で分析](#)：新たに見つかった RisePro の亜種と関わりを持つ 10 個の IoC を調査し、数百の潜在的な関連アーティファクトに辿り着きました。その多くは悪意のあるプロパティでした。

当社の過去の脅威レポートは[こちら](#)でご覧になれます。

今回のドメイン登録の分析や他のユースケースのサポートで使用了当社の商品につきましては、[こちら](#)までお気軽にお問い合わせください。